

各 位

2024年7月29日

会社名 河西工業株式会社  
代表者名 代表取締役社長 社長役員 半谷 勝二  
(コード：7256 東証スタンダード)  
問合せ先 取締役専務役員 小川 耕一  
(TEL：0467-75-1125)

(訂正)「第三者割当による優先株式の発行、定款の一部変更、資本金・資本準備金の額の減少及び剰余金の処分並びに主要株主である筆頭株主の異動に関するお知らせ」の一部訂正について

2024年5月9日に開示いたしました、「第三者割当による優先株式の発行、定款の一部変更、資本金・資本準備金の額の減少及び剰余金の処分並びに主要株主である筆頭株主の異動に関するお知らせ」について、一部訂正すべき事項が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

## 記

### 1. 訂正の主な理由

当社は、当社の連結子会社であるKASAI MEXICANA S.A. DE C. V.において過年度に起因する為替換算の計算方法の相違が発見されたことに伴い、会計監査人との協議の結果を踏まえ、過年度決算における他の誤り（売掛金・固定資産の減価償却等の計上相違など）も含めて、同期以前の各四半期の連結財務諸表への影響金額を算定・検証のうえ、過年度決算の訂正作業等を行うことが必要となりました。これらを踏まえ、当社は、2021年3月期から2023年3月期までの各決算短信及び2022年3月期第1四半期から2024年3月期第3四半期までの各四半期決算短信について2024年7月22日付で訂正し、2021年3月期から2023年3月期までの各有価証券報告書及び2022年3月期第1四半期から2024年3月期第3四半期までの各四半期報告書について本日付で訂正いたしました。

上記訂正に伴い、2024年5月9日に開示いたしました、「第三者割当による優先株式の発行、定款の一部変更、資本金・資本準備金の額の減少及び剰余金の処分並びに主要株主である筆頭株主の異動に関するお知らせ」の一部記載事項に誤りが生じたので、これらに関する事項等の訂正を行うものであります。

### 2. 訂正の内容

訂正箇所には、下線\_を付して表示しております。

## I. 本取引の目的等

### 1. 概要

#### (1) 本第三者割当増資の目的・理由

(訂正前)

(前略)

しかしながら、当社グループは、2019 年末に発生した新型コロナウイルス感染症、及び世界的な半導体不足の影響により、主要販売先 OEM の減産や生産の不安定化等の厳しい環境変化に直面しております。その結果、2020 年度以降は売上高が大幅に減少し、固定費の負担が大きくなったことから大幅な営業損失を計上し、2023 年 3 月期には、14,790 百万円の営業損失を計上しました。これに伴い、財務の健全性を示す自己資本比率は 2023 年 9 月末時点で 9.0%と 2019 年 12 月末時点の 38.8%から低下するに至りました。営業キャッシュ・フローも悪化し、また、信用力の低下から新規の借入による資金調達も困難な状況となった結果、保有資産の売却等による運転資金の捻出も必要となりました。

(後略)

(訂正後)

(前略)

しかしながら、当社グループは、2019 年末に発生した新型コロナウイルス感染症、及び世界的な半導体不足の影響により、主要販売先 OEM の減産や生産の不安定化等の厳しい環境変化に直面しております。その結果、2020 年度以降は売上高が大幅に減少し、固定費の負担が大きくなったことから大幅な営業損失を計上し、2023 年 3 月期には、13,804 百万円の営業損失を計上しました。これに伴い、財務の健全性を示す自己資本比率は 2023 年 9 月末時点で 8.6%と 2019 年 12 月末時点の 38.8%から低下するに至りました。営業キャッシュ・フローも悪化し、また、信用力の低下から新規の借入による資金調達も困難な状況となった結果、保有資産の売却等による運転資金の捻出も必要となりました。

(後略)

## II. 本第三者割当増資

### 3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期

#### (2) 調達する資金の具体的な使途

(訂正前)

(前略)

当社グループは、上記「I. 本取引の目的等」の「1. 概要 (1) 本第三者割当増資の目的・理由」において記載のとおり、2021 年 3 月期以降、新型コロナウイルス感染症の感染拡大や半導体供給不足等の影響に伴う、主要販売先 OEM の減産や生産の不安定化を受け、売上が減少し固定費を回収することができず、3 期連続で営業損失を計上しております。2023 年 3 月期においては、国内・欧州での業績は改善するも、北米での原材料や人件費の高騰による業績悪化を受け営業損失 147 億 90 百万円を計上しております。

(後略)

(訂正後)

(前略)

当社グループは、上記「I. 本取引の目的等」の「1. 概要 (1) 本第三者割当増資の目的・理由」において記載のとおり、2021 年 3 月期以降、新型コロナウイルス感染症の感染拡大や半導体供給不足等の影響に伴う、主要販売先 OEM の減産や生産の不安定化を受け、売上が減少し固定費を回収することができず、3 期連続で営業損失を計上しております。2023 年 3 月期においては、国内・欧州での業績は改善するも、北米での原材料や人件費の高騰による業績悪化を受け営業損失 138 億 4 百万円を計上しております。

(後略)

## 10. 最近 3 年間の業績及びエクイティ・ファイナンスの状況

### (1) 最近 3 年間の業績 (連結)

(訂正前)

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
連結売上高	152,824百万円	147,474百万円	175,469百万円
連結営業利益又は連結営業損失 (△)	△12,969百万円	△12,185百万円	△14,790百万円
連結経常利益又は連結経常損失 (△)	△11,191百万円	△10,356百万円	△14,107百万円
親会社株主に帰属する 当期純利益又は親会社株主に帰 属する当期純損失(△)	△17,082百万円	△19,032百万円	△13,659百万円
1株当たり当期純利益又は1株 当たり当期純損失(△)	△441.48円	△491.87円	△353.02円
1株当たり配当金	—	—	—
1株当たり連結純資産	999.07円	577.21円	296.83円

(訂正後)

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
連結売上高	152,755百万円	146,375百万円	175,440百万円
連結営業利益又は連結営業損失 (△)	△13,291百万円	△13,110百万円	△13,804百万円
連結経常利益又は連結経常損失 (△)	△11,604百万円	△11,401百万円	△13,140百万円
親会社株主に帰属する 当期純利益又は親会社株主に帰 属する当期純損失(△)	△17,300百万円	△19,465百万円	△13,133百万円
1株当たり当期純利益又は1株 当たり当期純損失(△)	△447.12円	△503.07円	△339.44円
1株当たり配当金	—	—	—
1株当たり連結純資産	993.18円	559.08円	291.43円

以上